

## 【尼崎市都市計画審議会公園緑地分科会専門部会委員名簿】

(任期: 令和4年2月14日から令和5年10月31日)

氏名	役職名等
<small>アカザワ ヒロキ</small> 赤澤 宏樹	兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 教授
<small>ウエダ モエコ</small> 上田 萌子	大阪公立大学大学院 農学研究科 緑地環境科学専攻 准教授
<small>シンボ ナオミ</small> 新保 奈穂美	兵庫県立大学大学院 緑環境景観マネジメント研究科 講師 (兼 淡路景観園芸学校 景観園芸専門員)
<small>ナガオカ マサミ</small> 長岡 雅美	武庫川女子大学 健康・スポーツ学科 教授
<small>フジモト マリ</small> 藤本 真里	兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 教授

# (仮称)次期緑の基本計画の骨格(フレーム)検討

## 現計画

- 【緑の将来像】** 総合計画の「ありたいまち」の緑  
 「人が育ち、互いに支えあうまち」の緑  
 「地域の資源を活かし、活力が生まれるまち」の緑  
 「健康、安全・安心を実感できるまち」の緑  
 「次の世代に、よりよい明日をつないでいくまち」の緑
- 【キャッチフレーズ】**  
 水とみどりそして人が輝くまち あまがさき

- 【計画の目標】**  
 緑を通じてまちの満足度を高める
- 指標：市民アンケートによる「緑に対する満足度」  
 現状 40ポイント → 将来 上昇させる

- 【基本方針】**
- 関わる** 多様な主体が関わり、みんなで緑のまちづくりを進めましょう
  - 活かす** 暮らしや様々な活動、まちづくりに緑を活かしましょう
  - 守り育てる** まちの緑を守り育て、次世代へ引き継ぎましょう
  - 工夫してつくる** 工夫して新たな緑づくりを進めましょう

緑のネットワーク (緑の拠点 緑の軸 身近な緑)

- 公園づくりの考え方**
- ・H25.4時点4.3m<sup>2</sup>/人 ⇒ 目標5m<sup>2</sup>/人
  - ・配置基準 街区・近隣公園の誘致距離：250m
  - 大規模公園の誘致距離：2km

- 【基本方針に沿った取り組み】**
- 《1-1》 緑に関わる機会を増やします
  - 《1-2》 多様な主体の育成・連携を進めます
  - 《2-1》 様々な活動の場として緑を活用します
  - 《2-2》 まちの魅力となる緑の情報を発信します
  - 《3-1》 緑で豊かなまちの環境や文化を育みます
  - 《3-2》 緑でまちの安心や安全を高めます
  - 《4-1》 人の目をひきつける緑づくりを進めます
  - 《4-2》 身近な緑づくりを進めます

**【地域らしい緑のまちづくり】**  
 阪急沿線、JR・阪神沿線、臨海地域

## 尼崎市総合計画



ひとさき  
 まちさき  
 あまがさき

職員の  
 意見

## 分科会等で頂いたご意見

- ・行政だけでなく**みんなの計画**に (行政がしてくれる計画ではなく)
- ・参加したい、関わりたい計画に (行動や意識も含んだ「みどり」)
- ・誰が読んでも**分かりやすい計画**に (子どもから大人まで分かるように)
- ・みどりを身近で利用しやすい計画に
- ・公園から緑のまちづくりが進む計画に
- ・時代変化やニーズに合った計画に (地域の実情に応じた公園の機能分担)
- ・新しいことに取り組む計画に (試行的に「まずはやってみよう」)

## 新計画のキーワード

- ・みんなで取り組む
- ・子どもも 大人も 誰もが 憩い楽しめる
- ・すぐわかる
- ・公園・緑地でまちがつながる
- ・ひとがつながる
- ・みどりをもっと身近に もっと使いやすく
- ・みどりでまちをブランディング
- ・子ども目線 子育て目線
- ・スクラップ & ビルド 優先順位
- ・脱炭素 デジタル化 災害意識 コロナ
- ・安全、安心、快適

継続 《緑の質を高める》

## 尼崎版SDGs

- ① 尼崎市総合計画で「ありたいまち」の実現に向け、13の施策を展開
- ② 尼崎市総合計画は、SDGsの目指す17の目標と方向性が同じである

総合計画の推進を図ることでSDGsの達成を目指す



## 新計画の骨格づくり

### 1. 構成

- わかりやすい内容とするため  
 以下の3部構成とする(3つに分冊)
- ① 本編
  - ② 資料編(背景、各種データ、回想録等)
  - ③ 行動計画(取組みの内容とスケジュール)

### 2. 計画名称

#### 《候補》事務局案

- ① 『尼崎市緑の基本計画』
- ② 『Amagasaki Green Plan』
- ③ 『みどりの尼崎計画』 など

#### 《サブタイトルの候補》事務局案

- 身近な計画だと感じてもらえるようにしたい  
 →サブタイトル=基本理念
- ① 『あなたと わたしの Green Plan』
  - ② 『わたしもしてる Ama Green Plan』
  - ③ 『知ってる!! やってる? AGP』
  - ④ 『みんなでつなぐ あまがさきのみどり』

### 3. 将来像と基本理念

将来像 《ありたい姿、ゴール》  
 基本理念 《基本思想、目的》

- ・どうすれば、みんなで取組める？
- ・どうすれば、みどりの質が高まる？
- ・どうすれば、時代や市民ニーズに合う？
- ・10年後にどうありたい？
- ・これらをどう表現する？

現計画から引継ぐことは？追加することは？

- ・将来像
- ・キャッチフレーズ
- ・計画目標
- ・基本方針
- ・基本方針に沿った取組み

どう整合を図る？

- ・総合計画
- ・SDGs

NEXT

目指す将来像(案) 《10年後のありたい姿、ゴール》

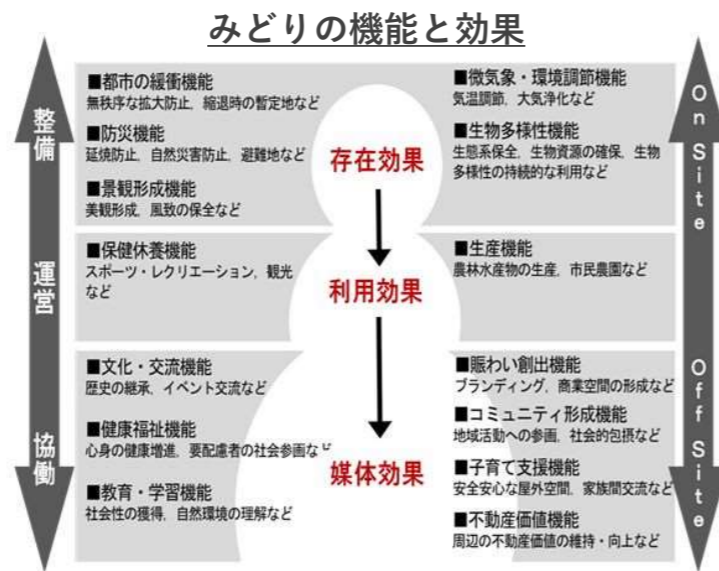
VISION

- ・みどりを身近に感じ、みどりを最大限に利用することで、みどりの価値、そして、まちの価値を高め、ずっと住み続けたい、まちのために活動したいと感じる。
- ・市民・市民活動団体・事業者・行政が一体となって、考え、行動し、これまで培ってきたみどりを未来へ継承していく。

基本理念(案) 《“将来像”へ近づくための基本思想、目的》

SLOGAN

みんなでつなぐ あまがさきのみどり



基本方針(案) 《目的を達成するための方向性》

MISSION

- 方針① **みどり**で **まち**をつなぐ  
～住み続けたい魅力的なみどりのまちをつくる～
- 方針② **みどり**で **ひと**をつなぐ  
～多様な分野・主体による連携と協働～
- 方針③ **みどり**を **未来**へつなぐ  
～あまがさきらしいみどりを次世代へ～



- 【考え方】
- ・これまでの緑の基本計画を引き継ぎつつも、時代のニーズを踏まえた公園の利活用促進や街路樹のあり方等に関する**方向性**を示す。
  - ・個別施策（実際の取組み）との関係が明確であり、**実行的でわかりやすい計画**とする。

施策体系(案)

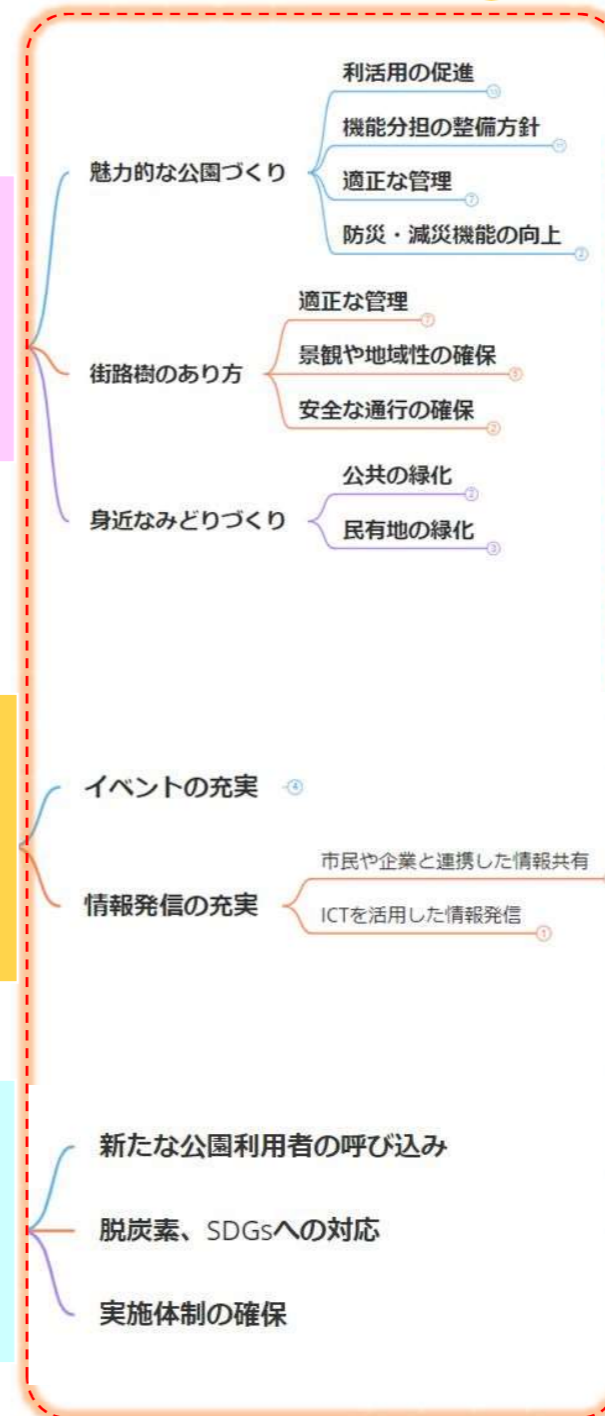
【考え方】

- ・3つの基本方針に沿って、“**まち、ひと、未来**”をキーワードとした個別施策を**体系的に展開**する。
- ・個別施策ごとに、各主体（市民・市民活動団体・事業者・行政）の**役割を明記**する。
- ・個別施策ごとに、**取組み目標**を定め、計画期間である10年間の行動計画を別途定めて進行管理する。

個別施策の例

精査中

方針①  
みどりで  
**まち**をつなぐ  
取組み



各主体の役割分担イメージ



現計画の4つの基本方針は『個別施策の視点』として次期計画へ引き継ぐ。

個別施策の視点



4つの視点を重ねて個別施策を構成

基本理念	基本方針	個別施策	取組課題	総合計画の「ありたいまち」※					SDGs目標			施策の視点				役割分担			
				①	②	③	④	⑤	1	2	3	関わる	活かす	守り育てる	つくる	産	官	民	学
みんなでつなぐあまがさきのみどり	①みどりでまちをつなぐ	魅力的な公園づくり	利活用の促進	○	●	○		3	11	17	●		○	○	●	●	○		
			機能分担の整備方針	○	○	●	○		3	11		○	○	●		●	●	○	
			適正な管理			●			11			○	●	○		●	○		
			防災・減災機能の向上	○		●			13			○	●			○	●	○	
	①みどりでまちをつなぐ	街路樹のあり方	適正な管理			●			7	13	15		●		○	●	○	○	
			景観や地域性の確保	●		○			15			○	○	●		●	○	○	
			安全な通行の確保	○		○			11			○	○	●		●	○	○	
	①みどりでまちをつなぐ	身近なみどりづくり	公共の緑化			○			15	17			○	●	●	○			
			民有地の緑化			○	○		15	17		○	○	○	●	○	●		
	②みどりでひとをつなぐ	②みどりでひとをつなぐ	イベントの充実			○	○		15	17		○	○	○		●	●		
			情報発信の充実	市民や企業と連携できる情報共有	○		○			15			○			●	●	●	
	③みどりを未来へつなぐ	③みどりを未来へつなぐ	ICTを活用した情報発信			○			15			○				○			
新たな公園利用者の呼び込み				○	●	○					○	○			○	●	○	○	
脱炭素、SDGsへの対応							○		13			○	○		○	●	○	○	
③みどりを未来へつなぐ	③みどりを未来へつなぐ	実施体制の確保					○		17		○	○			●	○			

総合計画の「ありたいまち」※

- ① みなぎる。つながる。わたしたちのチカラ (シチズンシップ・シビックプライド)
- ② ほっとかない。だれも、なにも (社会的包摂・多様性)
- ③ きり拓く。ひと、しごと (産業・活力)
- ④ たかまる。便利でご機嫌な暮らし (利便性・都市機能)
- ⑤ ひろげる。一步先の選択肢 (持続可能性)

SDGsの17の目標

- 目標1 貧困をなくそう
- 目標2 飢餓をゼロに
- 目標3 すべての人に健康と福祉を
- 目標4 質の高い教育をみんなに
- 目標5 ジェンダー平等を実現しよう
- 目標6 安全な水とトイレを世界中に
- 目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 目標8 働きがいも経済成長も
- 目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 目標10 人や国の不平等をなくそう
- 目標11 住み続けられるまちづくりを
- 目標12 つくる責任つかう責任
- 目標13 気候変動に具体的な対策を
- 目標14 海の豊かさを守ろう
- 目標15 陸の豊かさを守ろう
- 目標16 平和と公正をすべての人に
- 目標17 パートナリシップで目標を達成しよう